

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	40 49	外部評価実施後の運営推進会議に、結果や目標達成計画内容を口頭で報告しているが、モニターをしてもらう取り組みは行っていない。	運営推進会議の報告の仕方を工夫し、モニターをしていただく取り組みを行う。	①運営推進会議時には、口頭だけではなく、文書と一緒に説明を行う。 ②毎月発行しているお便りに『お知らせコーナー』を設け、外部評価結果や目標、そして取り組み状況を発信し、取り組みを「見える化」する。 ③運営す新会議時に参加者からの意見をいただき次に繋げる。	12 か月	
2	40 50	家族会で災害時の質問があり、訓練を行っているが、家族が安心できる訓練には至っていない。 地域の防災訓練に参加できていない。	1. 『活かせる訓練』を住人、家族、地域、行政、スタッフ全員で行う。 2. 落ち着いて避難誘導、地域との連携を図れる動きができる。	1-①実際にライフライン無しの『避難生活体験』を計画し「スタッフはどう動くか！」を実施。家族や地域、行政にも参加の声掛けを行い体験してみる。 1-②体験からの課題を明確にし次の訓練に繋げる。 2-①訓練の回数を増やし『スタッフ全員動ける』に繋げる。 2-②久枝地区自主防災会連合会に参加し地域の訓練にも参加する。	12 か月	
3	40 51	入居相談で来訪する人の介護相談を受ける事はあるが、地域のケア拠点としての取り組みはできていない。	地域の高齢者や認知症の人、その家族等への相談支援を行い、地域拠点としての役割を持つ。	①お便りやホームページに相談支援ができるというメッセージを入れ、地域のケア拠点であることを発信する。 ②運営推進会を『Café』にもつなげ、地域の方が来ていただきやすい環境をつくる。	6 か月	
4	10 16	訪室時、声をかける事を行っているが、自由に出入りしているスタッフがいる。 離床時、後ろ髪が乱れている事がある。	居室は利用者専用の場所であり、プライバシーの場所であることを理解し、居室への出入りなど十分配慮を行う。 重度な状態であっても、髪形や服装等本人らしさが保てる工夫や支援を行う。	居室の扉はその方の家の玄関であることを常に意識し、『ノック、声掛け』の徹底を行う。 モーニングケア時や離床時には、服装や髪形を整え、その人らしさを保てる工夫や支援を行う	3 か月	
5	18	朝晩は、声掛けや誘導して支援しているが、昼食後は、自主性や習慣に沿って支援しているため、口腔ケアが行えていない方が多い。	昼食後も口腔ケアを行う。	朝食後、昼食後、夕食後の口腔ケアを基本とする。 (自主性に任せている方に関しては、声掛けを行う)	3 か月	

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から30日以内に評価機関に報告してください。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】		取 り 組 ん だ 内 容	
実施段階		(↓ 該当するものすべてに○印)	
1	サービス評価の事前準備	<input type="radio"/>	①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者へサービス評価について説明した
		<input type="radio"/>	③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		<input type="radio"/>	④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
		<input type="radio"/>	⑤その他()
2	自己評価の実施	<input type="radio"/>	①自己評価を職員全員が実施した
		<input type="radio"/>	②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		<input type="radio"/>	③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		<input type="radio"/>	④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
		<input type="radio"/>	⑤その他()
3	外部評価(訪問調査当日)	<input type="radio"/>	①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		<input type="radio"/>	②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		<input type="radio"/>	③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
		<input type="radio"/>	④その他()
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="radio"/>	①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	③評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
		<input type="radio"/>	④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	⑤その他(次回の運営推進会議で報告予定。 ご家族全員と話し合うことはすぐにはできないが評価結果は文書にて送っている)
5	サービス評価の活用	<input type="radio"/>	①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		<input type="radio"/>	②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		<input type="radio"/>	③「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した(する)
		<input type="radio"/>	④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
		<input type="radio"/>	⑤その他(①職員全員に結果と課題を報告。目標達成計画は代表者が集まって決めた)